

2014年度事業計画

●循環器学の研究及び振興を目的とする事業

①研究会・学術講演会の開催事業

1. 日本循環器学会年次学術集会

第79回日本循環器学会学術集会(JCS2015)

会期：2015年4月24日(金)～26日(日)

会長：小川 久雄(熊本大学 循環器内科学・

国立循環器病研究センター)

会場：中之島会場(大阪国際会議場, リーガロイヤルホテル大阪, 堂島リバーフォーラム, ABCホール), グランフロント大阪会場(ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター, イベントラボ, カンファレンスルーム)

メインテーマ：日本から発信する最新の循環器病学

Late-Breaking Cardiovascular Medicine from Japan

- (1) 一般演題
(口述, ポスター, Featured Research Session)
- (2) 美甘レクチャー
- (3) 真下記念講演
- (4) 特別講演
- (5) 会長講演
- (6) プレナリーセッション
- (7) シンポジウム
- (8) 会長特別企画
- (9) ジョイントシンポジウム
(AHA, ACC, ESC, KSC)
- (10) ラウンドテーブルディスカッション
- (11) トピック
- (12) コントロバーシー
- (13) ミート・ザ・エキスパート
- (14) モーニングレクチャー
- (15) Late Breaking Clinical Trials
- (16) Late Breaking Cohort Studies
- (17) 第43回循環器教育セッション
- (18) 日本心臓財団佐藤賞記念講演
- (19) 審査講演会
YIA Clinical research部門審査講演
YIA Basic research部門審査講演
国際留学生YIA審査講演
第5回コメディカル賞審査講演会
- (20) ガイドラインに学ぶ
- (21) ガイドライン解説
- (22) 第11回心臓移植セミナー
- (23) 保険医療セミナー
- (24) 第5回海外留学生セミナー
- (25) 第14回医療安全・医療倫理に関する講演会
- (26) 第14回禁煙推進セミナー

- (27) 日本循環器学会蘇生科学シンポジウム
- (28) 第13回禁煙推進・心肺蘇生法合同市民公開講座
- (29) 第5回男女共同参画委員会セッション
- (30) Circulation Journal Award Session
- (31) チーム医療セッション
- (32) 市民公開講座
- (33) サテライトセミナー(ランチョンセミナー, ファイアサイドセミナー)：会期中3日間
- (34) 機器・書籍展示

2. プレレジストレーション

学術集会参加者向けに, 参加登録, 教育セッション, ランチョンセミナー・ファイアサイドセミナーのプレレジストレーションについて, 学会独自のシステム構築を行う。

3. 印刷物・製作物

第79回学術集会関連の印刷物・制作物として, 抄録CD, プログラム, 電子抄録アプリ, 教育セッションテキスト(循環器専門医Vol.22 Supplement 2015), 企業展示ガイドブック, ピンバッジ, 英文パンフレットを製作する。

4. My Abstracts

抄録CDに掲載されている演題・チーム医療セッション・共催セミナー抄録を検索し, 必要な演題の抄録だけを収録したオリジナル抄録集や日程表が作成できるサービスをWEB上で行う。

5. トラベルグラント

海外からの演題採択者への補助として筆頭著者にトラベルグラントを支給する。支給金額は中国, 香港, 台湾, 韓国は5万円, その他の国は10万円とする。

6. 発表データプレエントリー

学術集会発表スライドを会期前にWEBサイトで事前アップロードするための「発表データプレエントリーシステム」を公開する。

7. 託児室

学術集会会期中に参加者に対して英語対応可能な託児室を設置する。

8. 日本循環器学会ブースの出展

第79回学術集会の期間中, 展示会場にて学会活動紹介のための日本循環器学会ブースを出展する。

9. 学会賞

以下の賞に関して, 受賞者を決定する。

第40回日本心臓財団佐藤賞

第32回YIA Clinical research部門審査講演
第32回YIA Basic research部門審査講演
第13回国際留学生Young Investigator's Award
第23回CPIS賞
第10回心臓血管外科賞
第10回小児循環器賞
第9回循環器再生医科学賞
第8回女性研究者奨励賞
第4回循環器臨床研究奨励賞
第2回循環器イメージング賞
第5回コメディカル賞
Circulation Journal Awards for Volume 78, 2014
日本心臓財団・日本循環器学会2014年「心臓」賞

10. 日本循環器学会地方学術集会

第111回北海道地方会

会期：2014年6月28日(土)

会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会長：樋上 哲哉(札幌医科大学 心臓血管外科学講座)

第112回北海道地方会

会期：2014年11月22日(土)

会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会長：松居 喜郎(北海道大学
循環器・呼吸器外科学分野)

第158回東北地方会

会期：2014年6月7日(土)

会場：岩手医科大学(盛岡市)

会長：中村 元行(岩手医科大学 内科学講座)

第159回東北地方会

会期：2014年12月6日(土)

会場：仙台国際センター(仙台市)

会長：竹石 恭知(福島県立医科大学
循環器血液内科学講座)

第232回関東甲信越地方会

会期：2014年6月21日(土)

会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会長：井上 晃男(獨協医科大学 心臓・血管内科)

第233回関東甲信越地方会

会期：2014年9月6日(土)

会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会長：中村 文隆(帝京大学ちば総合医療センター
第三内科)

第234回関東甲信越地方会

会期：2014年12月6日(土)

会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会長：大島 茂(群馬県立心臓血管センター)

第235回関東甲信越地方会

会期：2015年2月7日(土)

会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会長：小林 義典(東海大学医学部付属八王子病院
循環器内科)

第143回東海地方会

会期：2014年7月5日(土)

会場：じゅうろくプラザ(岐阜県岐阜市)

会長：竹村 博文(岐阜大学 高度先進外科)

第128回北陸地方会

会期：2014年7月6日(日)

会場：金沢大学医薬保健学域・医学類(石川県金沢市)

会長：井野 秀一(金沢大学附属病院
先端医療開発センター)

第144回東海・第129回北陸合同地方会

会期：2014年10月25日(土)・26日(日)

会場：ウインクあいち(愛知県産業労働センター)
(愛知県名古屋市)

会長：伊藤 正明(三重大学 循環器・腎臓内科学)

第117回近畿地方会

会期：2014年7月12日(土)

会場：ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター(大阪市)

会長：佐賀 俊彦(近畿大学 心臓血管外科)

第118回近畿地方会

会期：2014年11月29日(土)

会場：ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター(大阪市)

会長：上田 真喜子(大阪市立大学 病理病態学)

第105回中国地方会

会期：2014年12月6日(土)

会場：ANAクラウンプラザホテル宇部

会長：矢野 雅文(山口大学 器官病態内科学)

第105回四国地方会

会期：2014年12月6日(土)

会場：高松商工会議所(高松市)

会長：上枝 正幸(三豊総合病院 循環器科)

第104回中国・四国合同地方会

会期：2014年7月18日(金), 19日(土)

会場：岡山コンベンションセンター(岡山市)

会長：伊藤 浩(岡山大学 医歯薬学総合研究科)

第116回九州地方会

会期：2014年6月28日(土)

会場：電気ビル 共創館/みらいホール(福岡市)

会長：冷牟田 浩司(九州医療センター 循環器内科)

②学会学術誌、その他出版物の刊行事業

1. Circulation Journal刊行

英文誌Circulation Journal Vol.78 No.1～No.12を発行し、J-STAGEオンラインジャーナルとiPadにも掲載する。掲載内容は一般投稿論文に加え、依頼論文(Review Articles, Editorials, Guidelines)等である。

2. 国際編集会議

AHA開催期間中及び年次学術集會に、Associate Editor, International Associate Editor, International Advisory Boardのメンバーを招待し、国際編集会議を開催する。

3. 会告刊行

会告2014 No.1～No.6を発行する。

4. 地方会抄録

地方会抄録オンライン検索システム「症例くん」に、開催された地方会のデータを登録する。

5. 循環器学用語の検討

循環器学用語集の改定について、会員及び関係学会からの意見を踏まえて検討する。またICD-11改定作業について、関係分野の学会と協力して実務作業を進める。

6. 学会ニュースマールの配信

会員向けに学会からのお知らせなどを掲載したニュースマール「JCS News Letter」を配信する。

③学術研究助成事業

1. 循環器疾患診療実態調査

全国の循環器科・心臓血管外科を標榜する約2,600施設に調査依頼を行い、施設概要、検査や治療の実施件数についてWeb上で調査(対象期間：2013年1月～12月の1年間)を行う。

2. 学術研究班

- (1) 循環器病薬の血中濃度モニタリングに関するガイドライン
(日本循環器学会・日本TDM学会との2学会合同作成)
(班長：青沼 和隆、志賀 剛)
- (2) 心臓移植に関する提言
(班長：磯部 光章)
- (3) 末梢閉塞性動脈疾患の治療ガイドライン(改訂版)
(班長：宮田 哲郎)
- (4) 心疾患患者の学校、職域、スポーツにおける運動許容条件に関するガイドライン(改訂版)

3. ガイドライン作成

2011-2013年度活動の新規1班と2012-2013年度活動の新規2班、2012-2013年度活動の改訂版2班のガイドラインについて、オリジナル版とダイジェスト版を作成し、『循環器病の診断と治療に関するガイドライン2014』として制作し、ホームページ上に公開する。また、第79回学術集會時に「ガイドライン解説」および「ガイドラインに学ぶ」セッションを開催する。

4. ガイドラインダイジェスト版の英訳化

既存ガイドラインの内、英訳化してホームページに掲載する。

5. ガイドラインダイジェスト版ポケット版作成

臨床現場での利便性を考慮し、ガイドラインダイジェスト版のポケットサイズ版を作成して第79回学術集會の期間中にセッション会場や日本循環器学会ブースで無料配布する。

6. Translational Research振興事業

臨床応用・実用化にある最先端の基礎的研究やtranslational researchについて、我が国の先進医学研究に寄与することを目的に、2件の研究支援助成を行う。

7. 大規模臨床試験の後援

我が国独自のエビデンスを構築するため新しい大規模臨床試験を計画し、あるいは医師主導型臨床試験を支援する。

- ・心筋梗塞患者に対するエポエチンベータ投与による心機能改善効果に関する研究-II
(EPO-AMI-II：主査 小室 一成)
- ・急性心筋梗塞に対する治療の現状とその効果の実態調査
(J-MINUET：主査 小川 久雄)
- ・周産期(産褥)心筋症の発症に関する登録研究
(PREACHER：主査 池田 智明)

8. 心原性ショックに関するレジストリ

蘇生科学小委員会が主導して行う心原性ショックに関するレジストリで登録されたデータの検証を行い、心原性ショックの転帰を改善させる対策を探求し、対策を講ずる。

9. 留学支援助成

学術集會の発展・医学研究の振興を願って、海外留学する循環器領域に著しい貢献が期待される若手研究者の経済的支援を目的に1件の留学支援助成を行う。

10. 国内交流に関する事業

他学会からの要請に応じて、随時、本会としての対

応を検討する。また、引き続きICD-CRT研修制度協議会での協議を継続する。

④国際交流事業

1. 国際交流事業

- (1) 海外学会へのブース出展として、ESC・AHAへブース出展を行う。
- (2) 海外学会と共同シンポジウムを開催する。
- (3) 第79回学術集会にて国際名誉会員の表彰を行う。

●循環器医師の教育及び専門性の向上を目的とする事業

①循環器専門医事業

1. 専門医制度事業

- (1) 第25回循環器専門医資格認定試験を次のとおり行う。
会期：2014年8月24日(日)
東京会場：東京国際フォーラム
(東京都千代田区)
大阪会場：梅田スカイビル(大阪市北区)
- (2) 循環器専門医資格の更新審査を行う。
- (3) 循環器専門医研修・研修関連施設の指定・更新審査を行う。
- (4) 『循環器専門医』は2冊、Vol.22 No.2とVol.23 No.1を発刊予定。

②循環器医師及びその他の医療関連従事者の教育・育成事業

1. 第10回循環器専門医を志す研修医のための卒後セミナーの開催

主に研修医を対象に、循環器学の面白さをレクチャー・グループ討論などを通じて伝えるセミナーを開催する。

2. 教育研修用DVDの製作・販売

第78回学術集会で開催された教育セッションをより多くの医師に視聴研修していただくことを目的に、教育セッションの内容を収録した「第42回循環器教育セッションDVD」の製作・販売を行う。

3. 教育研修用e-ラーニングシステムの構築

学会員の知識、技能の向上を目的に、教育研修e-ラーニングのコンテンツを充実させていく。

4. 学術集会DVD

第78回学術集会の講演内容を会期後に視聴研修していただくことを目的に、講演内容を収録したDVDを製作・販売する。

5. 心肺蘇生法普及活動

次の各講習会を全国で開催する。

- (1) AHA BLSヘルスケアプロバイダーコース
- (2) AHA ACLSプロバイダーコース
- (3) AHAハートセイバーCPR AEDコース

また、インストラクター養成のため次の各講習会を開催する。

- (1) AHAコアインストラクターコース
- (2) AHA BLSインストラクターコース
- (3) AHA ACLSインストラクターコース
- (4) AHAハートセイバーインストラクターコース

6. コメディカルセミナーの開催

2014年8月に、東京・大阪にて循環器系コメディカルスタッフへの教育・啓発を目的として、「増加する心臓弁膜症」をテーマとしたコメディカルセミナーを開催する。プログラムには、企業共催講演を含む。

7. 男女共同参画に関する事業

現状を把握し、今後検討すべき問題を明らかにして提言を行うため、男女共同参画委員会セッションおよびセミナーを開催する。

●循環器診療の社会への普及啓発及び社会還元を目的とする事業

①心臓移植等にかかる事業

1. 心臓移植に関する事業

- (1) 心臓移植に関連する協議会等と諸問題について協議し、必要な要望などを関係各所に提出する。
- (2) 心臓移植・心肺同時移植に関する適応検討及び、VAD植込事後検証を行う。
- (3) 心臓移植適応検討申請数増加に対応するため、申請システムのメンテナンスを行う。
- (4) 心臓移植実施施設間で問題点、今後のあり方について協議を行う。
- (5) 学術集会会期中に医師及びコメディカル向けに移植医療の現状報告、将来への展望などについて心臓移植セミナーを開催する。
- (6) 心臓移植について一般市民に理解を深めてもらうため市民公開講座を開催する。
- (7) 日本の心臓移植の状況を世界に発信していくためCirculation Journalにアニュアルレポートを投稿する。
- (8) 1997年～2014年秋までの適応検討症例について、追跡予後調査(2年ごとに実施)を実施する。
- (9) 心臓移植実施施設(成人・小児)の認定審査に関連の学会・研究会と行う。

②社会への広報・啓発事業

1. プレスセミナーの開催

一般市民への啓発を目的として、プレスを対象としたセミナーを開催する。

2. 学術集会プレスカンファレンス

第79回学術集会の企画内容をプレス向けに説明する会合として、プレスカンファレンスを開催する。

3. 市民公開講座

第79回学術集会の会期中に、市民公開講座(会長企画)を開催する。

4. 禁煙市民公開講座の開催

第79回学術集会において第13回禁煙推進のための市民公開講座を開催する。

5. 心肺蘇生法市民公開講座の開催

第79回学術集会において一般市民を対象とした心肺蘇生法講習会を開催する。

6. 禁煙ポスターの増刷

禁煙指導のための教材として無料配布している禁煙ポスターの増刷を行う。

7. 禁煙ガイドブックの制作・販売

禁煙指導のための教材として使用する「禁煙ガイド Passport to Stop Smoking」の制作・販売を行う。

8. 禁煙啓発キャラクター「すわん君」グッズの制作・配布

日本循環器学会の禁煙啓発キャラクター「すわん君」のグッズを制作し、学術集会や市民公開講座会場で配布し禁煙啓発を行う。

9. 職員用AHAハートセイバーCPR AEDコースの開催

日本循環器学会事務局職員を対象としたAHAの心肺蘇生法コース、ハートセイバーCPR AEDコースを開催する。

10. 学会ホームページの運営

学会員・一般市民に役立つ情報を学会ホームページに掲載する。新たに学会員向けに「教育研修ポータルサイト」を追加する。

11. 診療報酬に関する調査

循環器分野における診療報酬の実態を調査するため、関連学会と協力して主にDPCの実態及び診療報酬改定後の影響について調査を行い、必要な要望等を関係各所に行う。

12. 医療安全に関する事業

循環器領域の医療安全の向上を目的として、本委員会内規にある業務内容に沿って業務を行う。

●その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 利益相反委員会

「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」の普及、実施を行う。臨床研究の利益相反に関する共通指針に基づく本学会細則の普及・実施を促し、学会員の意識向上を目指す。

2. 事務局あり方検討委員会

事務局運営体制のさらなる改善を実行する。